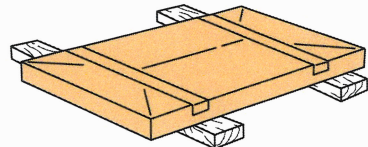


積層カウンター・積層フリー板の取扱いと施工上の注意事項

積層材の性能・機能は、施工方法との関連が大きく、取扱いや取付けの仕方に、手違い・不備等がありますと性能が十分に発揮できない場合があります。それが不測のクレームを引き起こす原因にもなりかねません。そこで、「現場での注意点」をまとめてみました。

保管

- 屋外での保管はさけてください。
- 地面に直接置かないようにしてください。パレット、棧木等を下に敷いて保管してください。
- 換気には充分気を付けてください。水に濡れますと変色・シミ・反りなどの原因となりますので、注意してください。
- 部分的な乾燥や、加熱及び吸湿も反りの原因になりますので、注意してください。
- コンクリート打込み、モルタル塗り直後の現場には保管しないでください。
- 開梱後はすみやかに施工してください。
- 開梱時、長さ・巾・厚みに関しては木材の収縮や仕上り工程上の誤差は許容範囲としております。程度の差はありますが、木材全般に共通して反りがあります。塗装すれば吸湿・乾燥が抑えられるため、反りの程度は少なくなります。



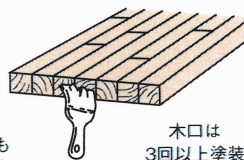
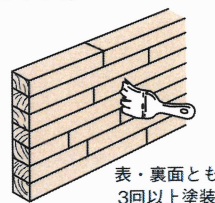
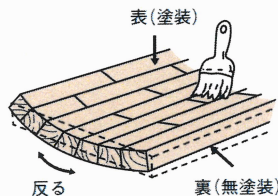
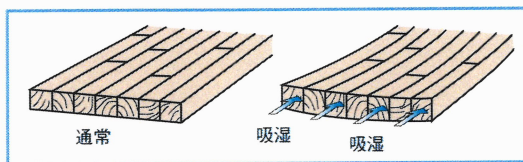
- 床に直接置かず、台木を敷いた上に水平に保管してください。

取扱・輸送上の注意

荷受けの際、必ず破損の有無を確認し、破損の場合は運送会社の証明をとり、至急弊社へご連絡ください。後日に発見された運送破損には責任を負えません。又、万一運送中の傷、商品に不都合、問題が発生した場合には、製品の交換で対応させていただきます。代替品の再納入には作成納期がかかりますが、それに伴う工期遅れなどは保証対象外とさせていただきます。早めの御準備をお願い致します。製品取付後、現場補修させていただく場合は、実費をお客様にご負担にてお願いすることになりますので、取付前にご確認をお願い致します。

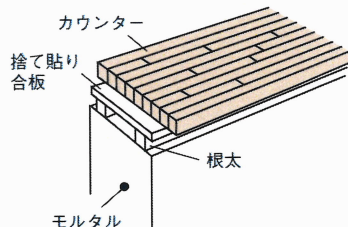
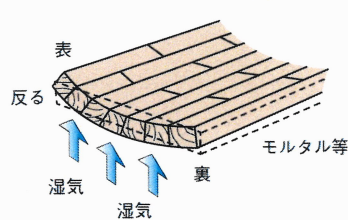
現場塗装

- 塗装前には、180～240番程度のペーパーを軽くかけ、下地調整を行ってください。（塗装を1度行いますと毛羽立ちが起こりますので、2度目の塗装前にも、ペーパーがけをしていただくと仕上がりが大変きれいになります。）
- 塗装はポリウレタンが最適です。水溶性塗料・ニスなどは、反り・割れの原因となりますので絶対にお避けください。
- 反り、くずれ防止のため、表面、裏面とも3回以上塗装してください。吸湿による膨張、収縮防止のためカットした木口も忘れずに、3回以上塗装してください。（片面塗装は反りの原因になります。）



施工

- コンクリート、モルタル等への直接の取り付けは避けてください。やむをえない場合は、下図を参考にカウンターと台となる部分の間に湿気の逃げる空間を設けてください。また施工後、換気には充分気を付けてください。



- 切断面の塗装
切断した場合は、切断面に必ずウレタン塗装（3回以上）をしてください。特に、壁などへの埋込みには反りや木口の膨らみを抑えるために必要です。

養生テープのご使用について

- 現場養生をする際には、養生テープを化粧面に直接貼らないでください。テープの糊が月日の経過にもないウレタン塗膜と化学反応を起こし、塗膜がはがれるおそれがあります。やむをえない場合は、粘着性の低いテープを使用し長期間貼らないでください。

使用上のご注意

- 水濡れには注意してください。木製品は本質的に水気を嫌います。長時間濡れたまま放置しますと、ヒビ割れ・反り・変色などの原因となりますので、すみやかに拭き取るようにしてください。
- 高温のものや、発熱する物を直接置いたり、近づけたりしないでください。表面が変色したり、ヒビ割れ・反りの原因となります。（湯呑み、やかん、FAX機、パソコン、ストーブ等）
- 陶器製花瓶等の底の堅い、もしくはザラついたものを置かないでください。表面にキズがつきますので、柔らかい布等の敷物を介してください。
- 塗装品の清掃には柔らかい布でカラ拭きし、汚れが著しい場合は中性洗剤を薄めて使用してください。ベンジン・シンナー・アルコール・ワックス等は表面塗膜が破損されますので、使用しないでください。